

# 大川市議会だより

令和4年11月1日 第202号

●編集 広報委員会 ●発行 大川市議会 TEL 85-5622(直通)

公職選挙法の規定により議員の寄附行為・時候の挨拶状・中元・歳暮などは禁止されています。



今回は、風浪宮本殿前で執り行われた木魂祭（木工まつり）前夜祭の写真を掲載しています。



## 【第3回定例議会のあらまし】

9月の定例議会は、8月29日から9月16日までの19日間の会期で開催しました。

この定例議会では、市長提案の報告3件、条例議案2件、決算認定議案6件、予算議案3件、その他5件を審議しました。

初日に、専決処分報告、教育委員会委員の人事案件等について、審議しました。

1日、2日に、一般質問を行いました。2日に、市長から議案1件の追加提案がなされ、一般質問終了後に、決算特別委員会の設置を行い、各委員会に議案を付託しました。

5日に各常任委員会を、7日と8日に決算特別委員会を開催し、付託案件を審査しました。

16日に、各常任委員長及び決算特別委員長から審査の経過及び結果報告を受け、審議しました。

9月定例議会のあらまし

一般会計補正予算を可決

・・・2

決算特別委員会

3年度一般会計決算を認定

・・・5

一般質問

9人の議員が市政を問う

・・・7

### 第3回定例議会

#### 報告された案件

次の案件はいずれも報告どおり了されました

- 専決処分報告 (市道側溝用グレーチング蓋の跳ね上げによる車両破損に係る損害賠償)
- 大川市健全化判断比率及び資金不足比率の報告
- 3年度一般会計予算継続費精算報告

#### 審議された案件

次の案件はいずれも提案どおり同意されました

- 大川市教育委員会委員の選任
- 大川市公平委員会委員の選任
- 人権擁護委員候補者の推せん (人事案件欄をご覧ください)



### 人事案件

9月定例会において、次の方の選任(推せん)に同意しました。

- ◎大川市教育委員会委員 谷川 朋昭 (大川)
- ◎大川市公平委員会委員 田中 利明 (木室)
- ◎人権擁護委員候補者 石井 明美 (大川)

### 委員会公審査

#### 総務委員会

付託された案件はいずれも提案どおり可決されました

大川市職員の定年等に関する条例等の一部改正等

地方公務員法の一部を改正する法律の施行を踏まえた職員の定年の段階的引上げ、多様な職業生活設計の支援その他非常勤職員の育児休業に関してなど、国家公務員と同様の措置を講じるための改正等です。

大川市第1号会計年度任用職員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部改正

地方公務員等共済組合法の改正により、短期給付、福祉事業の対象が非常勤職員にも拡大されることに伴い、第1号会計年度任用職員の報酬及び期末手当の全額払いの特例を設けるための改正です。

4年度一般会計補正予算 (第3号)

2億5千948万2千円増額  
予算総額175億7千8万3千円

○総務費 大学生等応援臨時給付金等給付事業3千46万8千円、減債基金積立金1億3千69万5千2千円など計1億7千599万6千円

○民生費 自宅療養者等支援助物資調達業務委託料563万2千円、保育所等給食支援助費補助金742万5千円など計2千420万4千円

○労働費 勤労者福祉施設空調設備更新工事費1千万円

○農林水産業費 肥料価格高騰緊急支援助費補助金1千400万円、収入保険加入促進事業費補助金560万円など計2千160万円

○商工費 宿泊・交通事業者等支援金900万円

○教育費 修学旅行等追加費用補助金455万円、市民体育館トイレ等改修工事費707万6千円など計1千868万2千円

3年度後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定

歳入6億1千264万1千723円  
歳出6億971万9千225円  
差引残額292万2千498円

問 一般管理費における役務費は、国民健康保険事業特別会計の一般管理費の役務費と同じ業務を行っているのか。

答 後期高齢者医療の役務費は、当該被保険者証について、福岡県後期高齢者医療広域連合から、封書に封入まで終わったものが市へ納品され、それを郵送するための費用です。国民健康保険の役務費は、当該被保険者証について、市から封入封緘業務を業者へ委託し、郵送するための費用です。

#### 文教厚生委員会

付託された案件はいずれも提案どおり可決認定されました

3年度国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定

歳入44億9千465万3千203円  
歳出44億7千378万5千953円  
差引残額2千86万7千250円

問 傷病手当金の支給状況とその周知については。

答 件数は10件、総額は40万2千46円です。国民健康保険加入者は、個人事業主等が多く、支給対象となる給与所得者は少ないためです。周知については、ホームページや市報に掲載していますが、専従者に適用されることも市民に分かりやすく周知したいと思えます。

意見 新型コロナウイルス感染症の濃厚接触者には、国民健康保険からの手当金はないが、他に国から助かるので、今後、一覧のようなものを作成していただきたい。

4年度一般会計補正予算 (第4号)

8千744万1千円増額  
予算総額176億5千752万4千円

新型コロナウイルスのオミクロン株に対応したワクチンを使用した新型コロナウイルスワクチン接種事業にかかる経費について補正を行うものです。

○衛生費 新型コロナウイルスワクチン接種事業8千744万1千円

問 接種体制は。

答 3回目以降のワクチン接種と同様に、医療機関において個別接種で行う予定です。

問 大学生等応援臨時給付金の対象者は。

答 大学生のほか、短大生、専門学校生も含まれます。対象者数は市内大学と専門学校で学生1千540人、及び市外通学者921人を計上しています。なお、市外通学者数の積算については、19歳から22歳までの年齢者数1千335人のうち、福岡県の進学率を基に大川市の進学率を69パーセントと見込んでいます。

問 ふるさと納税プロモーション業務委託の内容は。

答 財源確保、市の認知度向上、デジタル化の推進など、地域課題解決に対する支援を目的に、企業版ふるさと納税の申し出を受け、その寄附金を活用し、今後、首都圏において、メディアを使ったふるさと納税のPRに取り組みしていくものです。

問 自宅療養者等支援助物資調達業務委託の内容は。

答 今年度の利用者数は、4月から8月末までで439人です。周知方法は、市ホームページ等の他、感染した場合には、福岡県からメール等で連絡が届きます。





### 決算特別委員会

#### 3年度介護保険事業 特別会計歳入歳出決算認定

歳入 39億959万7千65円  
歳出 36億9千368万6千904円  
差引残額 2億1千591万161円

**問** ボランティアポイント活用推進事業費補助金に関しては、3年度から5年度の限定的な事業で、3年度は約100万円の予算であるが、4年度と5年度も同額を予算計上されるのか。また、5年度でこの事業が終了すれば、本市として形を変えてでもボランティア事業を継続するののか。

**答** 3年度は同程度の予算計上を考えています。現在は県から4分の3の補助があり、事業終了後は一般財源になるかもしれませんが、前向きに検討したいと思います。

#### 3年度介護保険事業 特別会計補正予算

2億1千590万9千円増額  
予算総額 43億2千890万9千円

今回の補正は、介護給付費準備基金積立金及び3年度介護給付費国庫負担金等の精算に伴う返還金に要する経費の補正です。

#### 産業建設委員会

付託された案件はいずれも提案どおり可決・認定されました

#### 3年度水道事業会計決算認定

##### ◎水道事業の経営成績(税抜き)

総収益 7億1千773万7千282円  
総事業費 6億7千307万3千905円  
純利益 4千466万3千377円

##### ◎資本的収支(税込み)

収入 9千534万2千434円  
支出 3億5千150万5千575円  
収支 △2億5千616万2千571円

不足額は、当年度分損益勘定留保資金及び建設改良積立金等で補てん

**問** 人口減少により収益が減ることを考慮すると、料金改定も必要になってくると思われる。水道事業の今後の見通しは。

**答** 将来的な見通しは厳しいものがありますが、配水量に対して料金の対象となる有収率は若干向上しています。大川はものづくりのまちで事業所も多く、産業振興が水道事業にも寄与しています。料

付託された案件は提案どおり認定されました

#### 3年度一般会計 歳入歳出決算認定

歳入 198億8千394万1千円  
(前年比18億1千586万4千円減)  
歳出 187億6千75万6千円  
(前年比27億4千983万4千円減)  
差引残額 11億2千318万5千円  
翌年度へ繰り越すべき財源 1億3千59万5千円  
実質収支額 9億9千259万円

交わされた主な質疑は次のとおり

**問** コロナ禍でコミュニティ活動が自粛される中、市はコミュニティ協議会の予算執行の内容を把握しているのか。

**答** コロナ対策での備品購入のほか、必要な諸々の経費について支出を行うなど、内容は把握しています。また、毎月1回のコミュニティセンター局長会議で、支出に関する相談を受けるなど、コミュニティ協議会の状況も把握しています。

金改定を行うことなく市民に水道水を利用していただけるよう、無駄な水量を減らすなどの経営努力や、有収率を上げる取組等を行い、将来的に、料金改定の検討が必要になるとしても、なるべく時期を遅らせるよう努力していきたいと思っています。

**意見** 家庭や工場ではよく水を使用するので、市民が安心して水道水を利用できるようにしていきたい。

#### 3年度水道事業会計 未処分利益剰余金の処分

3年度未処分利益剰余金 3億3千432万8千675円

このうち1億1千399万5千円を建設改良積立金へ、1億520万6千396円を資本金へ  
残余の1億1千512万7千279円は繰越

#### 3年度下水道事業会計決算認定

##### ◎下水道事業の経営成績(税抜き)

総収益 4億9千885万5千406円  
総事業費 4億4千560万6千565円  
純利益 5千324万8千841円

**問** 戸籍住民基本台帳費の個人番号カード交付率を上げる施策は。

**答** 既に国においてマイナンバー2万円分の付与が行われており、まずは国に努力していただきたいと考えます。

**問** カード申請後、市民課窓口へ受け取りにこない市民への対応は。

**答** 通知や電話連絡などでお知らせを行っています。顔写真付きのカードであり、本人確認や暗証番号の設定を行う必要があるため、一度は市民課窓口に来ていただく必要があります。

**問** 障害者自立支援給付費の給付先、補装具費の支給実績及び個人の負担割合は。

**答** 自立支援を実施した事業者に支払われます。支給実績は車椅子4件、修理8件などです。個人負担割合は、基本的に1割で、低所得者の負担はありません。

**意見** 生活が厳しい方や身体が不自由な方もいらっしゃると思われるため、支給等の際には十分に注意をして、生活しやすくなるように支援をお願いしたい。

**問** 生活保護総務費に関し、ジェ

##### ◎資本的収支(税込み)

収入 3億1千247万300円  
支出 5億4千543万9千275円  
収支 △2億3千296万8千975円

不足額は、当年度分損益勘定留保資金等で補てん

**問** 水洗化する際の高齢者世帯に対する補助は。

**答** 下水道が整備された区域内において3年以内に下水道に接続いただいた方に対し、高齢者世帯に限らず上限額10万円の補助を行っています。

**意見** 下水道事業にはお金がかかるが、接続した方から下水道は非常にいいと言われるので、普及促進に向けてなお一層取り組んでいきたい。

#### 3年度下水道事業会計 未処分利益剰余金の処分

3年度未処分利益剰余金 1億29万4千313円

このうち5千871万8千951円を減債積立金へ、3千466万7千65円を資本金へ  
残余の690万8千297円は繰越

**問** ネリック医薬品の推奨により医療費を削減したとあるが、その変更割合と促進策は。

**答** レセプト点検において、過誤調整金211万5千円の効果が出ています。また、生活保護受給者へ医療の明細書を送付する際にジェネリック医薬品の使用を推奨しています。

**意見** ジェネリック医薬品を既に勧めている薬局もあり、市からも薬局等に対し、さらなる使用推奨についてお願いされたい。

**問** 活力ある高収益型園芸産地育成事業費補助金を交付した生産農家の件数は。

**答** 活力ある園芸産地育成対策については、認定農業者2名といちご農家4戸で組織する1生産組合、園芸品目生産緊急支援事業については、青ねぎ生産者5名と露地野菜生産者1名に対し、補助金を交付しました。

**問** 補助金制度の周知方法は。

**答** JAや各地区の農事組合長を通じて、制度についてのチラシを配布し、生産部会へも情報を周知しています。内容についてのお尋ねは、市でも対応しています。

# 一般質問 市政を問う!!

◎一般質問とは、議員が市政全般について市長など執行機関の考えを  
 ただし、報告や説明を求めます。  
 ◎詳細は会議録（今回の会議録は、12月頃からホームページ、図書館、  
 各コミセンにて公開）またはインターネット議会中継をご参照ください。

一般質問の映像は、  
 ホームページでご覧いただけます。



9月1日 9月2日

9月2日			9月1日			氏名	質問の要旨	
遠藤 博昭	永島 幸夫	永島 守	西田 学	川野 栄美子	内藤 栄治			宮崎 稔子
1 高齢者にやさしいまちづくりについて	2 市道維持について	1 「大川の駅」の計画について(第6弾)	1 近未来構想と政策進捗経過について	1 今こそ平和学習の充実を！ (21世紀に対する警鐘が聴こえる)	1 いちよう通りの延伸について	2 「大川の駅」道の駅基本計画について	1 大川市の「脱炭素社会」(地球温暖化対策)の取り組みとインテリア産業の振興について	1 「大川市の文化財行政の取り組み」について

**問** 本市には多様で数多くの文化財が存在するが、滅失や散逸が進みつつある。貴重な文化財を次世代に継承するために、本市ではどのような方針の下に文化行政を進めているのか。

**答** 大川市第6次総合計画の教育分野施策、第2期大川市教育振興プログラムの目標に、「ふるさとに誇りと愛着を持ち、生き甲斐と豊かさを実感できる人づくり」を掲げ、具体的目標を「郷土愛の育成と担い手づくり」として、地域の誇りである文化財の保存及び活用を図ることに取り組んでいます。今後は、令和3年に策定された福岡県文化財保護大綱を踏まえ、市民や専門家に協力いただき、景観保全、地域振興、観光など、文化財保護と関連の深い部署と連携し、文化財保存活用地域計画の作成に取り組み、文化財保存と活用

をさらに効果的に進めていきたいと考えています。

**問** 旧筑紫等は、明治中期の貴重な近代和風建築物である。保存体制が整えば、国登録有形文化財として申請ができると聞いたが、市としても条件を満たす取組は。

**答** 文化財保存活用地域計画を作成するところから始まり、少々時間を要するため、ご理解をいただきながら、保存についてしっかりと協議していきたいと思います。

**問** 若津港は明治中期に九州随一の貿易港として繁栄した。大川の繁栄の一つの証として旧筑紫等が現存しており、保存活用への支援に対する市長の所見は。

**答** この地域が大変栄えていたことは後世にも伝えていく必要があると思っており、市としても相談対応、情報提供、技術的助言など行っていきたいと思えます。



「大川市の文化財行政の取り組み」について  
 箴島 かおる 議員



**問** 旧三又小学校跡地の活用事業について、今後どのように進めていくのか。

**答** 令和6年度末までに建物を解体する、もしくは、売却等による財産処分を行う必要があるため、早ければ本年末から再度、公募型プロポーザルによる事業提案を募集したいと考えています。

**問** シティセールス事業に関して、委託先、委託金額、主な事業内容は。

**答** 委託先は広告代理店で、委託金額は3千600万円、令和3年度の成果は、ロボ家具がテレビ等の各種メディアに取り上げられ、本市のPR効果は上がっていると考えています。

**問** ロボ家具の開発費等も委託料に含まれるか。また、販売権等は本市が持っているのか。

**答** 開発費等は委託料に含まれていません。今のところ、ロボ家具を販売する予定はなく、市に販売権等はありません。

**意見** ロボ家具は、人気ユーザーがSNSに投稿されて注目された部分があるので、販売についても検討されてはどうか。

**問** 市営住宅の募集を随時募集とした理由は。

**答** 定期募集をかけても応募数が少なかったため、定期募集で入居がなかった空き部屋は、令和3年10月から随時募集の形をとり、入居促進を図っています。

**問** 市は小中一貫型教育を進めていくのか。

**答** 小中一貫型学校をつくるというのではなく、内容面での小中一貫型教育を推進しています。現在、大川桐英中学校区では、1中4小の小中一貫型教育モデル事業を推進して3年目であり、生徒同士の交流や先生の交流、乗り入れ授業など、いろいろな施策を模索し、小中一貫型の研究を行っています。

**問** 小中一貫型教育の研究は、時間や人が取られるため、コミュニティスクールの確立ではどうか。

**答** 全10校で推進しているコミュニティスクールも2年目となり、地域学校協働活動は進んでいます。また、大川桐英中では、県の学力向上推進拠点事業の指定を受けて、大川桐英中学校区内の4小学校も大川桐英中と同じ学力向上に関する取組を行っており、小中一貫型教育を推進しています。小中一貫

型教育は、大川桐英中と大川桐英中で手法は違いますが、1中4小というブロックを意識して中学校区のコミュニティスクールを目指していきたくと考えています。

**問** 福岡県内で引きこもり者数は約1千500人、その中で10年以上の引きこもり者は約35パーセントいるとされ、アンケート調査の中で約8割の家庭が生活支援センターなどの相談室を知らないという回答されている。情報告知や情報取得の方法を幅広く提供し、親子で共有できるような取組は。

**答** 昨年度の実績として、不登校の中学生を持つ保護者会を開きました。参加した保護者からの声もあり、今年度も行いたいと考えています。

**意見** 引きこもりにある子どもたちへの相談、指導は型どおりではなく、例えば、引きこもりが改善した経験者からの実例に従った指導なども必要ではないか。

**問** 軽自動車税種別割における不納欠損の理由は。

**答** 登録後に市外へ転出する場合や、廃棄処分後も登録されたままの場合などで、回収不能のケースについて不納欠損を行っています。

## 総括意見・要望

○決算審査は来年度予算に向けての精査であり、メリハリのある予算が次年度に組まれることを期待したい。

○新規の大きな事業に取り組むにあたり、本市の財政規模や厳しい財政事情を考慮しつつ、市民生活を守る舵取りをぜひお願いしたい。

○努力なければ本市に未来はない。市長はリーダーとして、職員とともに、本市の未来に希望をつなぐものに取り組み、突き進んでいただきたい。

○道の駅については、大きな財政支出があり、大きな事業を果たして行くべきかという意見もあるが、政治や行政は、熱意と努力と国県に対する信頼ではないか。時代はものすごい勢いで進んでおり、遅れを取らないよう、皆で頑張っ取り組んでいただきたい。



大川市の「脱炭素社会」（地球温暖化対策）の取り組みとインテリア産業の振興について  
馬淵 清博 議員

**問** 本市は木工業、家具のまちであり、他自治体以上に地球温暖化対策に積極的に取り組むべきでは。

**答** 本市では、平成18年に第1次大川市地球温暖化対策実行計画を策定し、現在は令和3年2月策定の第4次計画に基づき、温室効果ガスの削減目標の達成に向け、全庁的に取組を推進しています。

温室効果ガスの削減には、森林環境が重要な役割を果たしており、森林の荒廃を防ぎ、樹木の健全な成長のためには適度な伐採が必要です。このため、本市では地域の森林から産出された木材を購入し、製材、加工、家具製造、納品までワンストップで提供できる「ふるさと家具」事業や植樹後、短い期間で伐採が可能となる早生広葉樹センダンの活用など、循環型サイクルの構築を支援しています。

また、令和2年に那珂川市と地域木材活用等に関する連携協定を締結し、同市での植林に参加するなど、連携と協働に努めています。

**問** 森林環境譲与税を活用した今後の取り組みは。

**答** 本市の公共施設等に国産材、地域材を使用した木製品等の導入や、県内の自治体にふるさと家具を活用していただくためのPR事業などに有効活用していきたいと考えています。

**問** 古材の再利用によるインテリア産業振興については。

**答** 樹齢がいくと二酸化炭素の吸収量は落ちるため、一定の樹齢の木は伐採し、若木を植林して循環させることが、温室効果ガスの抑制には効果があります。古材は、木質バイオマスなどの燃料として、油の使用を抑制できれば、地球温暖化防止にもつながるのではないかと思います。



エツ漁の解禁期間の変更について  
内藤 栄治 議員

**問** エツは本市にとってどのような観光資源か。

**答** 毎年エツのシーズンには多くの観光客をお迎えしており、他の観光施設の回遊などの波及効果も含め、重要な観光資源の一つです。

**問** 温暖化の影響が、エツの遡上時期が早まっているようだ。解禁日を早めて、漁期を4月10日又は15日から6月30日までにしては。

**答** エツの漁期は、5月1日から7月20日までです。エツの漁獲量の減少に伴い、産卵期間を確保するため、資源保護の観点から、多くの協議を重ね、平成7年に7月31日までだった漁期を20日までと変更されました。河川の漁期は、毎年、福岡県内水面漁場管理委員会です許可方針が確認され、福岡県で決定されています。漁期の変更は、漁業関係者から要請された際に、変更の必要性や科学的データ

を基に審議、決定されます。また、筑後川のエツは、福岡・佐賀両県に接しているため、両県内水面合同漁場管理委員会にも諮る必要があります。まずは現状確認のため、漁業者から話を伺うとともに、福岡県の有明海研究所に確認します。

**問** エツ漁の漁師数は。

**答** 許可を持っている方は90名、実際に取っている方は59名です。

**問** エツの漁獲量は。

**答** 元年度9・5トン、2年度6トン、3年度7・4トンです。

**問** 漁獲量は現状ではそんなに多くないのでは。エツの更なる減少対策のためにも、現状把握をもっと真剣に行うべきでは。

**答** 科学的なデータをとれる機関、専門家の研究、調査等で判断しなければならぬと思っています。本市としてもエツを未来に向かつて守っていききたいと思っています。



マイナンバーカードの推進について  
宮崎 稔子 議員

**問** カードを作る必要性とメリットは。

**答** 新型コロナウイルス対応などを通じて、デジタル化の遅れが社会の課題であることが明らかになり、今後、人口減少と高齢化が一層進んでいく中で、安心、便利で豊かなデジタル社会を構築するために必要なものであると考えます。

メリットは、本人確認の際に公的な身分証明書になること、確定申告などの各種行政手続のオンライン申請ができること、健康保険証として利用できること、コンビニなどで行政上の各種証明書を取得できることなどです。

**問** 市役所へ来庁される方でも、カードを持参されるとよい点はあるのか。

**答** 10月から申請書作成支援システムを導入予定で、マイナンバーカード等をかざして幾つかの数字

を入力するだけで、住所、氏名などが印刷された申請書が出来上がり、申請書に書きする手間が減ります。

また、住民票の写しなど、1通200円の手数料を、来年1月から300円に改定しますが、コンビニ交付やオンライン申請の場合は、1通200円に据え置きます。

**問** カードのセキュリティは。

**答** 顔写真入りのために悪用は困難なほか、ICチップは、情報を利用するには暗証番号が必要で、不正に情報を読み出そうとすると壊れる仕組みです。なお、税や年金などのプライバシー性の高い情報は入っていません。

**問** カード取得に地域振興券の発行などの考えは。

**答** 今のところ、ポイントなどに頼らない普及策を考えていかなければならないと思っています。



今こそ平和学習の充実を！  
(21世紀に対する警鐘が聴こえる)  
川野 栄美子 議員

**問** 小中学校の平和学習の内容は。

**答** 小学校では、社会や国語の教科のほか、夏休みの出校日に平和学習を行い、修学旅行では長崎を訪れ、実際に被爆された方から被爆体験を聞く機会も設けています。中学校では、小学校の学びを発展した内容で、全教育活動を通して学習し、夏休みに全校集会形式で平和を祈念する式を実施し、生徒一人ひとりが平和について考えを深める機会としています。

**問** 平和学習での要を3つあげると、教育長のご所見は。

**答** 「命」命を守ること、「信頼」自分と周りの人との信頼、人間関係、「心」豊かな心です。

**問** 小中学校の平和学習は、今の学習で満足な内容か。

**答** 今の平和学習でよいと思っています。

**問** とは。

**答** 大人に対しての平和学習では、忘れてはいけない過去の歴史から学び、子供たちに伝えていくことが、大人の使命であると考えます。

**問** 行政の取り組みは。

**答** 戦時資料パネル展、戦没者追悼式の実施やウクライナ人道危機救援金の募金箱を設置しています。

**問** 本市に戦争体験集はあるのか。

**答** 本市でまとめたものはありません。大川市在住、出身の方が戦争体験等を書かれたり、まとめられた書籍は市立図書館にあります。



いちよう通りの延伸について  
「大川の駅」道の駅基本計画について  
西田 学 議員

**問** いちよう通りを東へ延伸すれば、本市東部の利便性が上がり、定住人口の増加も期待できる。県道水田大川線のバイパス道路の整備実現のため、柳川市と協力して県に要請できないか。

**答** 道路が整備されれば、広域の交通ネットワークが形成され、本市に大きなメリットをもたらすものと認識しています。最終的には両市長の要望になりますが、関係機関との協議調整等、慎重な対応が求められます。今後も県や柳川市と連携し、市内の他の県事業の進捗状況などのタイミングを見ながら、引き続き検討していきます。

**問** 「大川の駅」計画では、約7万4千平米の農地がなくなるが、本市や市民にとって損失では。

**答** 「大川の駅」整備事業は、「大川の駅」を核とした環有明海経済圏域の構築を目指すという目標を実現させるために進めており、農地の用地取得を行うことで、この事業を推進していくことができません。



「大川の駅」の計画について（第6弾）  
市道維持について  
永島 幸夫 議員

**問** 調整池を造ることは決まっているのか。

**答** 下流の流出抑制のためにも調整池は必要だと考えています。今年度着手しております「大川の駅」造成基本計画策定業務において、6月に地質調査を実施しました。今後、排水処理計画を策定する中で、調整池の最適な形も含めて検討していきます。

**問** 市長の責任でなされるのか。

**答** 全ての政策は私の責任で行っておりますので、「大川の駅」についても同様です。

**問** 市道に関する年間要望件数は、3年度で、552件です。

**答** 現在、国の防災・減災・国土強靱化対策の関連予算である緊急自然災害防止対策事業を活用し、老朽化が著しく修繕が必要な路線の補修工事を実施しています。本年度は下青木、一木、本木室、下林、下牟田口の5地区の予定です。

**問** 市役所前道路の舗装状態が良くないようだが、舗装補修工事の予定は。

**答** 社会資本整備総合交付金を活用し、昨年度に測量設計調査を行い、本年度から舗装補修及び歩道改修工事に着手します。

**問** 荒尾市では、有明海沿岸道路下に予定されている道の駅について、PFI事業者を公募したところ、本年4月8日締切までに応募がないとの報道がなされたが、本市の「大川の駅」整備はどのような手法で行うのか。

**答** 「大川の駅」整備で想定される3つの事業手法は、従来方式（プラス指定管理）、DBO方式、PFI方式です。道の駅基本計画の中で、その概要と主な特徴について整理しています。整備に当たり、民間活力の導入を積極的に検討していく必要があると考えており、PPP/PFI導入可能性調査を実施することとしています。



近未来構想と政策進捗経過について  
永島 守 議員

**問** 「大川の駅」の案内板は。

**答** 有明海沿岸道路の大野島ICから南に走る県道大野島インター線の突き当り、丁字路交差点に、9月中旬には設置します。

**問** 公有地、公共施設の有効活用、民間活力導入や民間譲渡等は。

**答** 大川市公共施設等総合管理計画に基づき、費用対効果や、目的未達成の施設は提供するサービスの必要性などを検証の上、周辺施設との複合利用、民間譲渡など、有効活用を図っていきます。また、より高い公共サービスを提供するために、「大川の駅」をはじめとして、民間活力を積極的に活用していきたいと考えています。



高齢者にやさしいまちづくりについて  
遠藤 博昭 議員

**問** 令和3年4月に改正社会福祉法が施行され、重層的支援体制整備事業の推進が奨励されているが、本市における事業の進捗状況は。

**答** 3年度から重層的支援体制整備事業への移行準備事業に着手し、3か年で事業の実施体制を整え、6年度から重層的支援体制整備事業を実施する計画としています。本市の多機関協働の取組として、庁内連携体制を構築するため、副市長をトップとする大川市共生推進会議を立ち上げました。同会議の下には、高齢、障がい、子ども、生活困窮の相談支援に関わる担当職員で構成するワーキングチームを設置し、毎月、情報共有や、適切な支援方法をはじめ組織体制の在り方や新しいサービスづくりに向けた検討などを行っています。

**問** 介護予防に関する事業はどのようなものが行われているか。

**答** 介護予防、通いの場づくりとして、ゆうゆう会や食進サロンなど、また認知症対策として、認知症カフェ、あたまとからだの健康教室などの事業を実施しています。さらに、今年度から高齢者の保健事業と介護予防事業の一体的実施事業を開始しています。そのほか、管理栄養士が自宅を訪問する食サポなども実施しています。

**問** ボランティアポイント事業については。

**答** 3年度から5年度までの3か年事業として現在行っています。5ポイント以上で換金され、4ポイント以下は年度末を繰り越せない事象は承知しています。ポイントがモチベーションや楽しみになっているのは確かだと思われるため、予算を伴わずとも、例えば1回抽選できるなど、何か楽しい方法を考えていきたいと思えます。

9月28日に総合防災訓練が行われました。



## ～議員の寄附行為禁止について～

- 贈らない！ ●受け取らない！ ●求めない！

- ・政治家に対する寄附の勧誘、要求の禁止
- ・政治家の関係会社等の寄附の禁止
- ・後援団体の寄附の禁止
- ・あいさつを目的とする有料広告の禁止
- ・年賀状等のあいさつ状の禁止  
(答礼のための自筆を除く)

(例) お中元、お歳暮、お祭等への差入れ、入学祝、卒業祝、うちわ、カレンダー、葬式への花輪や供花、枕花、祝花など

※ 公職選挙法により、選挙区内において寄附行為が禁止されています。

(問) 選挙管理委員会 TEL 85-5565



編集  
広報委員会

委員長  
副委員長

内藤 永西  
藤島 島田  
栄か 幸  
治る 夫学

次の市議会定例会は、開会日を11月28日(月)に、  
一般質問を12月1日(木)、2日(金)に予定しています。

インターネットによる議会中継も行います。  
ご家庭で、ぜひご覧ください。

ホームページアドレス  
<http://www.okawa-city.stream.jfit.co.jp/>

大川市議会 検索

議会映像を  
スマートフォン  
タブレットでも  
視聴できます！



こちらのQRコードを読み取ると、  
簡単にご覧いただけます。

QRコードは、(株)デンソーウェブの登録商標です。

なお、議会の日程は変更になることもあります。  
詳しくは、議会事務局にお問い合わせください。  
(TEL 85-5622 直通)